

# 西なかね

西中根自治会 広報紙 第24号  
 発行 会長：重田 政之  
 編集 編集委員会  
 加入世帯数 528世帯  
 発行日 平成26年(2014年)7月25日  
 印刷所 いばらき印刷株式会社



撮影：宮下尊臣氏

西中根の菜の花畑。安曇野に劣らない心を癒してくれる花畑が西中根にもありました。菜の花の香りいっぱいの中で子らが無邪気に戯れる一コマで紙面を飾ることができました。写真は宮下さんのカメラでした。

いま毎朝放映中の朝ドラ“花子とアン”のオープニングでの和服がよく会う風景の一部は、赤毛のアンの舞台となったカナダのプリンス・エドワード島で撮られたそうですが、来春には西中根の菜の花畑と西中根



## 平成26年度・通常総会の報告

4月19日、議長に第4班3組の松藤徳康氏を迎え、平成26年度の通常総会が開催された。

昨年度の事業報告と収支決算報告に続き、本年度の事業計画と収支予算が承認された。詳細は通常総会資料を参照ください。



自治会長挨拶：大震災後3年目の年となり市内では被災の傷も大方見当たらなくなりましたが、まだまだ福島から避難者の方々には変わりがなく、3.11の被災地、被災者に対し、継続しての支援をお願いしたい。

さて、自治会の課題は、紙などの資源物回収量低減と防犯灯電気料金値上げからの活動費の低減が避けられない状況にあります。この低減を少しでも改善するために、防犯灯のLED化を年始めから進めています。省エネ効果に加え、修理費低減と明るさ増しを図ることができ、苦しい予算のなか全灯のLED化を進めて参ります。ここで、各ご家庭での資源物回収に更なるご協力をお願いします。

大震災で防災訓練の大切さを学び、今年度も8月30日(土)に「市総合防災訓練」にあわせて、西中根自主防災会では、例年同様に各家庭全員参加での訓練を実施します。訓練日の承知をお願いします。

夏まつりをはじめ昨年度の行事は年度計画書のもとに行うことができました。今年も昨年同様、行事を通して西中根の絆を深めて参ります。皆さんの参加をお願いします。

今年度も自治会活動を通して地域の連帯、そして、防犯パトロールを通して地域の安全・安心へのご協力をお願いいたします。

### 平成26年度の西中根自治会の役員と各種団体の役員

◆会 長：重田 政之「加入世帯数：528」

◆副会長：鳥 邦彦、海野 孝志

◆会 計：菊池 正臣 ◆書 記：大矢根 剰二

◆監 事：神原 勝也、横須賀 幸造、戸板・昌男

◆第1班班長：安 千代美「世帯数：121」

組長：海野 勝則、大澤 良司、安 広道、岩上 正司  
角田 雄二、大内 幸宏、海野 清見、横山 信義  
大芝 隆司、大津 智恵、清水 康雄

◆第2班班長：高橋守「世帯数：120」

組長：熊谷 良保、西野 直樹、川村 和義  
小田 好則、関 高夫、堀江 信雄

◆第3班班長：本嶋美千代「世帯数：101」

組長：谷田部 瑞穂、飛田 吉信、海野 満、

◎社協西中根支部の運営役員

：自治会役員からの委嘱

：民生委員：川又 多恵子、重田 充子、伊藤 政徳

：各団体長：大澤 良司、横山 恵美子、伊藤 昭子

：保健推進：佐野 美知子、江橋 伸子、清水 篤子

★編集委員会

委員長：佐野 和博、副委員長：小林 定吉

委 員：海野 吉輝

★西中根会館

会館長：安 紀美磨

主 事：大山 栄一

監 事：太田 均志、海野 洋、安 千代美

★農業土木：川又 有二



## 西中根・小砂子供会の子供達は

西中根子供育成会会長 渡邊 和子 小砂子供育成会会長 根本みゆき

西中根・小砂の両子供会では、この春に、1年生と6年生の歓送迎会を行い、1年生を18名を迎え、中学生に22名を送り出しました。平成26年度の両子供会の総勢は124名です。

子供たちは入学式の後、運動会、米づくり体験の田植え、そしてキックベースボール大会と盛沢山の行事を元気にこなしています。田植えには、多くの農家の方にお世話になりました。また、長堀学区の地区子供会ごとに選手を送り出す恒例のキックベースボール大会には、厳しい訓練に耐え、子供達は競う心を養うことができました。父兄の方にはもとより、先輩格のおやじの会の方々の指導をうけました。今後は、子供会の行事の他、夏まつり、敬老会などの自治会行事にも参加し、地域の方々との触れ合いを通して子供達の成長を見守っていきます。



入学式



キックベース練習風景



キックベース本番を終えて



## 西中根婦人会「研修旅行」

横山 恵美子 記

6月17日、晴天に恵まれて北茨城方面に研修旅行に行ってきました。まず、北茨城市内を眺望できる高台にある「ガラス工房シリカ」に行ってサンドブラスト体験。真剣に自分一つだけのコップを作ってきました。

次に五浦観光ホテルでランチ。食後のお買い物の後、六角堂を見学。そのまま岬公園まで散策。映画「天心」のロケ地や震災犠牲者の慰霊碑を巡り、いい運動になりました。その後、高萩市「昼工芸美術館」「穂積家住宅」を見学。バスの中では、健康について実践発表。ストレスをためずポジティブ思考・ウォーキング・野菜をたくさん食べて減塩食・おしゃべりでストレス発散など、有意義で茨城再発見もでき楽しい一日でした。



ガラス工房にて



六角堂脇の広場にて

## 女性セミナーの活動

伊藤 昭子 記

- 1月11日:「第19回どんど焼き」を開催
- 1月17日:「年初め顔合わせ会」食事をしながら懇親を深めた
- 2月21日:「25年度閉級式」暮らしに役立つ折り紙小物作り
- 2月22日:第23回1中地区芸能音楽祭自治会代表参加「南中ソーラン」を踊る
- 4月18日:「開級式」・講演会 ①「かかりつけ医と基幹病院の役割分担について」  
②「乳がんについて」 ③元気アップ体操
- 5月 8日:「見所満載の移動研修」群馬県・世界一のつるし雛、  
伊香保おもちゃと人形自動車博物館見学
- 6月 1日:地域清掃参加後・フラワーロード球根堀作業と土作りを行う
- 6月14日:マリーゴールド500本植え付け作業
- 6月20日:「手芸教室」かわいい菓子皿づくり
- 7月18日:敬老会プレゼント作り・お楽しみに!



群馬・つるし雛は世界一数が多い事でギネスブックに登録



旅行

横山 恵美子 記

きました。まず、北茨城市内を眺望できる高  
に自分一つだけのコップを作ってきました。  
堂を見学。そのまま岬公園まで散策。映画  
きました。その後、高萩市「豊工芸美術館」  
ストレスをためずポジティブ思考・ウォー  
など、有意義で茨城再発見もでき楽しい



六角堂脇の広場にて

伊藤 昭子 記

「ノーラン」を踊る  
割分担について」  
コップ体操



群馬・つるし雛は世界一数が  
多い事でギネスブックに登録

第24回 三世代輪投げ大会

スポーツ振興会  
安 正義 記

今年の冬は寒かった。寒さを吹き飛ばす元気な声・楽しそうな笑い声等々が聞こえてくる。『三世代輪投げ大会』が開催される一中コミセン会場から。

スポーツ振興会・社協西中根支部主催のこの大会は、三世代にわたる地域の皆さんと一緒に楽しめる行事で24回目になる。24チームが参加し、1階から3階までの3会場に分かれて熱戦が繰り広げられた。

総勢140人を超える多くの方々が参加され、試合後、和気あいあいの懇親会にうつり、各チームのメンバー紹介・ゲームの経過報告が行われた。温かい豚汁と昼食を口にしながら、地域の絆を深める心の通い合う楽しい一日を過ごした。帰りに参加賞のお花を手にとりそれぞれの家路へと向かった。

大会の結果

- <団体の部> 1位: 松ちゃんチーム 577点 2位: 落合チーム 569点 3位: まもるチーム 519点
- <個人の部> 1位: 大澤 良司 180点 2位: 落合 一郎 177点 3位: 坂上 忠三 152点
- 4位: 石津 央翔 150点 5位: 中島 幸春 148点



団体優勝の皆さん  
(中央は個人優勝の大澤さん)



参加者の皆さん



懇親会



皆さんの力投ぶり

イベントのひとこま

西中根おやじの会  
小林 定吉 記

おやじの会では、5月6日に親睦ゴルフコンペ(水府ゴルフクラブ&はなわ)、6月7日にバーベキュー大会(西中根会館)を開催した。両日とも生憎の天気でしたがそんなことはものともせず、大いに楽しみまし

## 六美会活動紹介

### ◆六美会活動：

大澤 良司 記

現在会員数92名(男性57名・女性35名)で健全と福祉を目標にかかげ、種々な活動を行っております。

体育関係では、ゲートボール、グランドゴルフ、ペタンク、輪投げ、シルバーリハビリ体操で汗を流し、体力の維持を図っております。一中コミセン主催の三世代交流のスポーツ大会では、ペタンク部門が昨年に続いて、今年も優勝するなど活躍が目立っております。

また福祉面では、日帰りや一泊などの研修旅行や、各種同好会のメンバーで懇親会を行い、親睦に役立っています。また、本年はカラオケ同好の人の参加を募り同会を作りたいと準備中です。

六美会ではこのような楽しい行事や、いろいろなスポーツなども行い、和気あいあいとした雰囲気大切にしていますので、ぜひ会員に加入されることをお勧めしています。



三世代交流スポーツ大会でペタンク2連勝



研修旅行の様子

### ◆第1回研修旅行：

海野 吉輝 記

会員相互の親睦を一層深めるため、市福祉バスを利用して下記のような研修会を行いました。

平成26年5月1日、会員37名参加のもと、「守谷SA防災拠点視察・グランローザ潮の湯(千葉県野田市)」といったコースを日帰りで巡り、和気藹々の中、会員の親睦を深めることができました。

常磐自動車道守谷SAについては、首都直下地震などの広域災害が発生した際に自衛隊や消防、医療機関など緊急出動機関の前線基地となる場所を提供し、被災地への支援拠点としての役割を担うとのことです。ドクターヘリポート、防災倉庫等一部整備されていました。

また、グランローザ潮の湯においては、温泉を満喫できる宿で源泉かけ流し温泉に入浴、ランチプuffェで地元の食材や季節を活かした料理を堪能しました。

これも健康であったことと、会員の皆様に恵まれたことに感謝しながらの、楽しい旅でした。



ひろば

イングリッシュ・ガーデンに憧れて!!

3班8組 菊池 茂子

私の「バラの庭」作りはひと枝の真赤なバラとの出会いから始まりました。「この様な花で庭を埋められたら」と。

まず、主人の協力を得てガゼボを作り、お茶を飲む場所、それからアーチ、トレリスと、それらを中心に四方に道を作り、咲いた時を想い浮かべながらの景色作り・・・

そんな日々の地味でも楽しい作業の積み重ねで出来た庭です。今では、バラ、宿根草を中心に季節ごとに絶えることなく、美しい花々を咲かせてくれています。

年毎にバリエーションが増え、競い合って咲くすばらしさとハーモニー。風が運んでくれる香りをご馳走にして、自家製のハーブ茶を友人や訪れる方々といただく、そんな至福のひと時を大切に楽しんでいます。お近くにお越しの節はお立ち寄り下さい。



お茶を楽しむガゼボ



中央にテーブル



アーチやトレリス

折り紙を始めて

4班2組 伊藤 昭子

私が折り紙に出合ったのは平成6年、傘を折ったのが始まりです。「たためる傘は出来ないの?」と言われ、試行錯誤を繰り返しての創作第1号「開いてたためる傘」が出来ました。平成12年にはコミセン主催の折り紙講座に参加し、2年後には講座を任されることになり、益々折り紙にはまり込んでしまいました。

折り紙には縦と横があり、折るときはその特徴を生かし折り進め、今は工程を完全に把握することと作図に時間をかけています。効果としては、幼い子供には知能の発育を促し、また、身障者等には指先の運動に医学的な効果を与える要素を含んでいるといわれており、教育上からも折り紙の良さが見直されて国内外の教科にも採用されています。

世界に誇る日本の伝統文化「おりがみ」は世界共通語となっています。

## 西中根婦人会：26年継続のふれあい活動 社会福祉協議会の功労者団体表彰を受賞

重田 政之 記

初夏の墓地除草作業を終えた六美会の皆さんを招いて、手料理と余興を交えて接待する西中根婦人会の皆さんの手による長年の親睦ふれあい活動が、ひたちなか市社会福祉協議会から、7月11日に社会福祉活動功労者団体として表彰されました。おめでとうございます。

### ●活動の内容

西中根六美会の皆さんは年に数回、墓地西中根霊園の除草作業を行っており、お盆前の炎天下での厳しいこの作業を終えた六美会の皆さんを西中根会館に招き、手料理と余興を交えて、この労をねぎらう西中根婦人会の親睦ふれあいの活動。

### ●活動の始まりは

初回が昭和62(1987)年にさかのぼり、今年で28回目。田植えやさつまの苗植え作業から開放される時期で、会員が協動しやすい毎年7月10日前後に行なわれ、今年も7月9日に行われました。

昭和60年代当時の婦人会は市の社会福祉協議会の支援のもとに故 池田静江先生から踊りや料理などの活動の指導を仰いでいた。当時休耕地に栽培していた“そば”で「お墓清掃でお疲れの六美会の皆さんにもてなしをしては」との先生の助言から「手打ちそば」を振舞ったのが“ふれあい会”の始まり。

「ふれあい会」の手料理の主品は、その後はうどんに、炊飯料理に、そして会員の得意料理へとかわり、六美会の皆さんがそのお品書きを毎年楽しみにしておられるのが今日です。そしてこの「ふれあい会」、今では余興に脳トレの手遊び体操も入り、西中根の絆や元気アップにつながる活動へと発展している。



### 編集あとがき

“ひろば”投稿の菊池茂子さんが目指したガーデニングは、多くの女性の思いを見事に具現化され、また、折り紙投稿の伊藤昭子さん、難題に応えての折り紙のとりこ。お二人とも苦勞を伴っての試行錯誤の末に“創造の世界の輝き”を手におられる。西中根のクリエイターです。再なる磨きを